

新刊話題書・文芸書ご担当者さま U-NEXTから新刊のご案内です

＼ New York Times 他米メディアで紹介多数! ／

# 罪の境界線を問う全米問題作上陸

10/7 発売予定

## 死が三人を 分かつまで

■著者：ケイティ・グティエレス

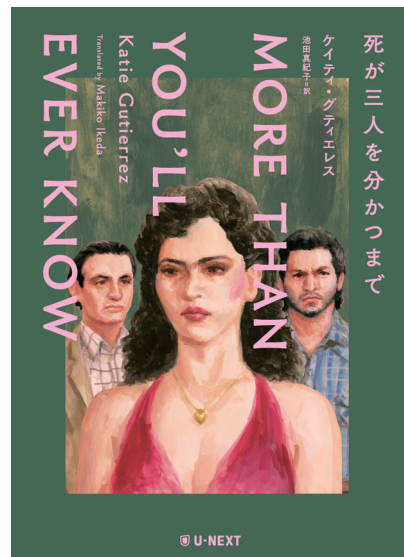
■発行・発売：U-NEXT（営業代行：サンクチュアリ出版）

■ISBN：978-4-910207-23-0

■訳者：池田真紀子

■予価：2200円（税込）

■体裁：四六判／上製 464ページ



表紙デザイン（仮）

『エドウィン・マルハウス』のイラストレーター高橋将貴さんです！

夫を愛している。子供たちも愛している。でも私は満たされない。

2017年7月、売れない犯罪実話ライターのカシーはひとつの記事に目をとめた。テキサス州南部の地方紙が、1986年8月に起きたアルゼンチン人男性銃殺事件の背景を探っていた。二人の男と重婚した女性ローレ、彼女の夫によるもう一人の夫の殺人。全ての原因となったローレは取材を拒否していた。もし彼女の視点で事件を書いたら？ カシーはローレに接近し、事件当時のことは話さない条件で取材権を得た。共に秘密を抱えた二人の女性の対決はやがて……。ローレは時代の生んだ悲劇か、嘘つきの身勝手か。

■ ゲラ読み書店員様の声を一部ご紹介

- ・ひどい、ずるい、そして弱くて、でも大胆で魅力的。主観と客観が重ねられて人物が立体的になっていくのが快感だった。ノンフィクションライターが人として揺らぎながら核心へ迫る、その過程、緩急にリアリティを感じた。語られなかった余白に今も思いをはせてしまう、そんな作品でした。（銀座 教文館 ×野 様）
- ・「運命」なのか…「偶然」なのか…それぞれのエピソードが交錯していく時、事件の「真相」が浮き彫りとなっていく。人生は選択と行動で作られる。読後、タイトルの意味が深く心に残りました。壮大で壮絶な人間ドラマに飲み込まれるような物語に感服です。（紀伊國屋書店 福岡本店 宗岡敦子 様）

ケイティ・グティエレス

テキサス州立大学MFA文芸プログラムを修了後、『タイム』『ハーバズバザー』『ワシントン・ポスト』などの紙誌に寄稿。テキサス州ラレード出身、現在は夫と子供二人とともにテキサス州サンアントニオ在住。本作で小説家デビューを果たす。

番線印

死が三人を分かつまで 10/7 発売予定

新刊委託締切

9/16

条件：新刊委託

著者：ケイティ・グティエレス

ISBN：978-4-910207-23-0

発行・発売：U-NEXT（営業代行：サンクチュアリ出版）

※発売後の出荷は注文扱いとなります

新刊委託締切

9/16

ご注文数

ご担当者様名

冊

様

サンクチュアリ出版

注文受付 FAX 050-3606-4734

FAXの配信停止は左のFAX番号までご連絡下さい。

（お手続きには、1週間程度お時間を頂戴する場合がございます。）

U-NEXT

2022/8